

## 平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	多久市立北部小学校		
2 所在地	多久市市北多久町大字小侍 45 番地 3		
3 校長名	吉崎 泰		
4 学級数 児童生徒数	14 学級 323 人	5 実施学年 児童生徒数	全学年 323 人

### 6 取組のねらい

- ・ユニバーサルデザインとは、誰もが使いやすいように最初から考えることだと知る。
- ・相手のことを考えて行動しようとする気持ちを育てる。

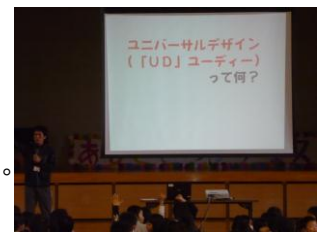
### 7 取組の実際

#### (1) 人権教室実施（全学年対象） 視点：共生

指導者 佐藤哲郎・山口礼子・藤原暁美

##### ① ユニバーサルデザインとは、何かを知る。

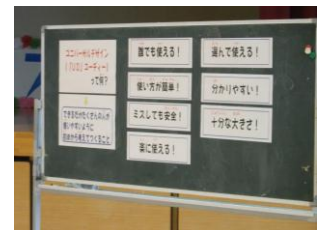
- 今回のテーマは「共生」であることを伝える。
- ユニバーサルデザインとは、「できるだけたくさんの人が使いやすいように初めから考えてつくること」であることを伝える。



##### ② 日常生活の中で使われている例を知る。

- 写真を見せながら、どんなよさがあるのか？特にどんな人たちにとっていいのか？を考えさせる。
- よさを確認しながら、ユニバーサルデザインの7つの原則を紹介していく。
  - ・誰でも使える
  - ・使い方が簡単
  - ・ミスしても安全
  - ・楽に使える
  - ・選んで使える
  - ・分かりやすい
  - ・十分な大きさや広さ

シャンプー コンセント  
手すり トイレ表示 等



- 北小にもあるユニバーサルデザインを紹介する。



##### ③ 子どもたちのアイデア作品を知る。

- どのような工夫が考えてあるか紹介する。
- いろいろな人のことを考えているアイデアであることを確認する。  
(トイレトーパー、ペットボトル)



##### ④ ユニバーサルデザインと共生とのつながりを考える。

- 自分と違ったいろいろな人のことを考えることで、みんなが生活しやすくなることをおさえる。



## (2) 道徳（人権教室を受けて）各学級 各担任

### 5年担任例

- ① 体育館であった人権教室の内容の確認をする。
  - ・UDの定義
  - ・身の回りにUDがたくさんあること
- ② 人権ノートに感想を書く。（毎月）
  - ・数名の児童の感想紹介
- ③ 文房具のUDを知る。（コクヨのホームページ）
  - ・画鋏、ペン、定規などたくさんあることを知る。
- ④ UDを考える。
  - ・こんなものがあたらいいなあと思うものや自分が困った体験をもとに考えさせた。
- ⑤ 考えたものを発表する。
  - ・グループで
  - ・全体で



## 8 取組の成果と課題

### <成果>

- 昨年度に引き続きユニバーサルデザイン教育に取り組むことができたので、「UD」がユニバーサルデザインだと理解できる児童が増えた。また、身近にあるUDを知ることができた。
- 今年度は、全児童に一斉に人権教室（朝の時間）で指導し、1時間目の道徳で各学年に応じて補足をし、感じたり考えたりしたことを人権ノートに書いたり、アイデア作品を書く紙に絵や文を書いて説明したりしたことで、全児童が、「UD」の目的や良さ等を大まかに知ることができた。
- ユニバーサルデザインのアイデア作品を楽しみながら考え、4年・5年生の作品を選んで県に応募することができた。

### <課題>

- ユニバーサルデザインが「すべての人」のためでなく、障害のある人やお年寄りのためのものだと勘違いをしている児童もいる。
- ユニバーサルデザインという物だけでなく、すべての人が生活をしやすい社会をつくっていくという考え方（相手のことを考える等）と児童の生活をつなげていきたい。

(児童の感想)

- 北部小の体育館のトイレは、ユニバーサルデザインでできていることがわかりました。ユニバーサルデザインでシャンプーの押すところがでこぼこしているのを知りませんでした。(1年)
- ペットボトルはあける時かたいけど、ちょっとだけ、もこっとしていたらあけやすい、それを考えた中学生はかしこいなと思いました。(1年)
- 北部小では、いっぱいユニバーサルデザインがあって、みんなも私も大事に使いたいです。(2年)
- 目が悪い人にも、けがをしている人でも使い方が簡単で、子どもでも大人でも選んで使えて、わかりやすく、ミスしても安心、楽に使えて誰でも使えて、十分な広さといわれ、工夫しているなあと思ったり、みんなが使いやすいからいいなあと思ったりしました。1番わかりやすかったものは、トイレです。ちがう国に行ってもトイレに絵があったら、「私は使えるんだ」とよくわかるから私は、なるほど、ちょっとしたことでも役にたっているんだと思いました。(2年)
- ユニバーサルデザインの良さは、だれもが使いやすいように考えることです。つまり、相手のことを考えることです。私は、手すりが、大・中・小とあって、選べるようになっていたのがびっくりしました。だって、お年寄りでも小さい人でも手すりを使って、ころばないようになっていたからです。(3年)
- 私は、「UD」とは、不自由な人が使いやすくするための工夫だと思っていました。でも、少しちがって、みんなが使いやすくするための工夫だったので、そうなんだなと思いました。私は、あまりUDについて考えたことがなかったので、これからは、みんなが使いやすくするためにはどんなことを工夫したらいいかを考えたいなあと思います。(4年)
- 私たちは、手すりや磁石付きのコンセントのような物は作れないけど、バスや電車の中で、お年寄りに席をゆずるなど、小さいことでもやっていけたらいいです。(4年)
- 私は、UDの角ケシを持っています。角ケシは、使いやすいし役立つので、すごいです。何か少し変えるだけで、とっても使いやすくなるってわかって良かったです。そして、UDは、思いやりの心を持っていれば、誰にでも、できる(作れる)と思います。(5年)
- 久しぶりにUDについて勉強して、やっぱりUDはいろいろ工夫してすごいなあと思いました。普段、私たちが普通になにげなく使っている物にも、UDが入っていることがわかりました。もっとたくさんあると思うので探してみたいです。(5年)
- UDは、誰でも使えるとても便利な物で、使いやすい物で、ぼくたちも使えるのでいいと思いました。ぼくが考えたのは、駅で電車に乗るときに、すきまを埋めるために、電車中から台を出して、駅の地面と電車の中をむすぶとひっかかってじこにならないという仕組みです。(5年)
- UDという言葉は聞いたことがあったけど、くわしくは知らなかったの、見てみて、いろんな便利な物があるなあと思いました。北小にも、UDがあると聞いてびっくりしました。UDは、誰でも使えるし、安全だし、簡単に使えるので、改めてすごいなあと思いました。もっと増やしたいなあと思いました。(6年)